



2004年7月3日 春の叙勲受賞祝賀会
湯沢ロイヤルホテルにて

水澤先生が永眠されました。
ご冥福をお祈り申し上げます。

長い間、先生をして頂き

ありがとうございました。

仙道だけでも幾百人の教え子達を送り出したでしょうか。ほかに山形でも仙台でも。

中でも私達は教師就任最初の受け持ちの先生であり、今や古稀を迎えようとする今日まで、先生として私達に接してくださいました。

先生のご逝去は私達の大きな衝撃となりました。若くして逝った同級生を悲しみ『私を先生とってくれるなら私よりも先に死ぬな』同級会では叫ぶように言っていました先生。「生老病死」は人の常。先生の言葉ですが、うしなうもの大きさを感ずります。

この十二月一日、恩師水澤先生が永眠されました。

あまりにも急な事であり、ご家族にも会えないまま先生は逝かれました。五時頃だといいますが、七十九歳、まだやり残した事もありましたことと思ひ残念なことと無念でなりません。

お嬢様は結婚されて秋田にお住まいで、仙道では先生がおひとり暮らしで暮らしておりました。週に何度かお手伝いをお願いしており、当日も仙道沢のかたなで車で送られたと言っています。その後一旦自宅に戻りまた車で病院へ向かわれましたが、途中「キャンコ淵」あ

病名は「大動脈破裂」と言っています。

葬儀は

十二月五日

十一時三十分湯沢火葬場

葬儀

同日午後二時 仙道地藏院

喪主はお嬢様のご主人

佐藤勤様

以上執り行われ、私達八期同級生からは代表して飯塚和雄さんをはじめ同級生が多数ご会葬されました。また、同級生一同として花環と花籠を添えさせて頂きました。

「あなた方は、私の教師になって始めての受け持ちだった」先生もおりにふれて語り、私達もこれを誇りに思ってきました。

昭和二十七年四月一日。仙道小学校校舎の西側教室の中学校。先生が始めて赴任してきて学年担当となったのでした。それから五年の歳月、生徒の一部でなく全体を見守ってくださいました先生、私達は心からご冥福をお祈りせずにおれません。

仙道中学校で二学年の担任卒業生を送り。

昭和四十一年年には田代中学校へ赴任

昭和四十八年には羽後中学校の



↑ 朝 HRの時間です。水澤先生は、島崎藤村や石川啄木などの詩歌を暗唱する時間を取っていました。みんなで唱和しています。

教頭を勤められています。

昭和五十年には、県教育庁南教育事務所主任指導主事として活躍します。

昭和五十二年からは、軽井沢小中学校長

昭和五十六年仙道小学校長

昭和五十八年には、県教育庁南教育事務所主任指導主事として活躍

昭和六十年からは上仙道小学校長

昭和六十三年には西馬音内小学校長

昭和六十三年からは、羽後町

の教育長として活躍されてきました。

まさに教育一筋四十二年、そのあいだいくつかの要職につかれ、町の教育に絶大な貢献をされてきました。

「まどい」にもたびたびペンをとり私達を励ましてくださいました。

昭和五十五年、私達は四十二年の十月から一ヶ月ブラジル・チリ・アメリカオレゴン州に、県教育庁の海外研修に出かけられました。

「まどい」では、その報告書の裏にある、先生の目を通して感じたままを書き、「まどい」第九十四号(昭和五十六年)から一三二号(平成三年)まで三十一回に渡る連載で伝えてくださいました。

仙道は私のふるさと

先生は「俺は仙道に骨を埋めるんだ」と折に触れて話しておられました。「まどい」九十七号(昭和五十七年)に書かれてあります。

『仙道は私のふるさと』この仙道のほかに私にはふるさとがない。雪がモリモリ積もって、人はこの仙道から逃避する。そして雪さえなければ仙道はいいところだとも言う。私は雪もあり青い空もあり、水の流れ、すんだ空気が、自然のありがままの姿がより多く残されているだけに仙道を愛し、ふるさとに定めている。そしてそれのも増して、かつて学校を卒業して第一歩を踏み出した地であり、多くの生徒と呼ばれるみなさんとの絆のある地であることが何よりも私の心を捉えて、ふるさとの心植えて付けているのである』と書かれていました。

仙道堀之内に居を構えずと私達の面倒を見つけて下さいました。秋田のお嬢様からは、しきりに秋田に来るようには言われていたようですが、晩年は週に何日かお手伝いさんをお願いして、おことは通り仙道に地で



最後を迎えることになりました。

平成七年に、羽後町教育長を退任され、その後古民具の収集や炭焼き、畑での野菜作りなどをしながら、地域の人たちの相談に耳を貸しみなさんに慕われてきました。

こうして教育ひとすじで活躍されてきた先生が平成十六年「春の叙勲」で「瑞宝双光章」を受賞されました。七月三日には、湯沢ロイヤルホテルにおいて先生の受賞祝賀会が二百名を越える関係者のあつまりで盛大に開かれました。(トップの写真)これは私達教え子にとってもこの上なく誇れる出来事でもありました。先生はこのことでも「まどい」に書かれております。

『春の叙勲で、はからずも授章の栄に浴し、去る五月十二日国立劇場で賞状と勲章の伝達を受け、皇居に参内し陛下の拝謁を受けました。私には過ぎたる賞で、恐縮この上ないものと思っております。

七月三日には雄勝郡、市。平鹿、仙北郡からも参加し二百十名余の方々の祝福を受けました。本当に感慨無量で万感胸に迫るものがあり感謝そのものでした。

その前には、堀之内部落の方々の祝賀会があり、また八期生、十一期生、十二期生の各卒業の有志の方々から盛大な祝賀会を開催していただきました。本当に有り難いと思われました。

私は十五歳のときに教師を志して、臨時教員養成所に入所致しました。いわゆる豆教員と言うものです。六ヶ月で準指導という資格で教員免許状をいただいて小学校の教師になりました。教師とは名ばかりで、とても先生と呼べるような授業も指導もできなかったと思います。

昭和二十年の終戦、それを機会に二十一年の四月に、本格的に教師を目指して師範学校に入学しました。途中学制改革で秋田大学に入学、昭和二十七年三月に卒業しました。卒業と同時に仙道中学校に務めたのが、仙



祝辞を述べる 飯塚和雄さん

道に居住の始まりで現在に至っているのです。

私は先生になりたいために先生になったのです。先生になるうか、先生しかないかな……ではなく先生になりたくてなったのです。だから今回の授章で生徒のみなさんが私を祝福し、喜んで下さった事が私にとって最高の喜びになったというわけです。たくさんの人々に祝福される事はうれしに違いないが、先生になりたくてなったその教え子からの祝福こそ最高の祝福と有り難くて、有り難くて、ただ感謝あるのみです。

七月三日の祝賀会には、その祝賀会のためにわざわざ東京



「まどい」一八三号(まどいホームページ)

春との死別 切なさ募る

から馳せ参じて戴いた芳雄さんにはあたまが下がります。祝賀会のご挨拶の中で飯塚和雄さんの身に余るご祝詞「教師宣利に尽きる」とはこのことです。教え子にしていただいた祝賀会が、生涯の私の宝物になりました。生きていて良かった、教師になって良かった。ひたすら思いをめぐらす今日この頃です。みなさんに深く感謝を申し上げたいと思います。筆舌に表せない感動感激です。

平成十七年八月十七日。先生は奥様に先立たれました。ウァァ針「地藏院」でご葬儀が行われ和雄さんやアイさんなど参席しました。先生は、この年の十一月三十日の「秋田サキガケ新聞」に奥様への思いをつづったものが投稿されていました。

『お盆が過ぎ、そろそろ秋風が吹くころ、妻は八十七歳で黄泉の国に旅立った。十年来、喘息に悩まされ、十回の入退院えお繰り返しながらも、その強い意志で生き抜いてきた。しかし今回は喘息に加えて坦のうがんと併発、とうとう帰らぬ人となった。生命の貴さは頭の中では理解していた。だが妻の死に直面し、あらためてその重さを嫌というほど思い知らされた。朝起きて「おはよう」と声を掛けても返事はない。毎朝、ご飯やお茶を供えても何の変化もなく、写真の妻が無言の笑みを見せるだけ。『ああ、これが死

なんだな』と、また切なさが募る。死は年齢に関係なく、また意思良しにかかわらず誰にでも必ず訪れる。いずれは永遠の別れをすることはわかってはいたが、それでもなお悔やまれてならない。生前、妻は「もしわたしが先に死んだら、直ぐ迎えに来るか」と言っていたが、こんなに寂しいものなら早く迎えに来てほしい。だがいまだお迎えはない。迎えないばかりか、夢の中ですら会えないでいる。娘に話したら、「この年になったら、多くの親類や友だちはあちらの世界にいるのだから、むしろ今いる世界が楽しくて迎えに来ないのでは」などと、いろいろ想像を巡らしたりもしている。

死別とは、こんなにもつらく切ないものなのか……。もっともっと優しくしておけば良かったとしみじみぎんげす。今日ものころである』
それからまた二年です。「一年が高んでくると、仙道の寒い冬はこたえます」と時折弱音を言っていました。奥様を亡くされてから、寂しい日々を過ごされたのだなと察しられます。



東海市 高橋孝之助
水澤先生の突然の訃報にただただ驚いております。なんとという偶然でしょうか、先生が亡くなる三日前わたしに電話がありました。学校以来一度も電話などしたこともなく、またされた事ありませんでした。十一月二十七日でした。明るく大きな声でお話されていました。以前手紙を差し上げましたおりの返事が書けなかったと言うことで電話した、とのことでした。あの時の声が今でも耳から離れません。担任が違ったとはいえ、いっばいお世話をかけました。ありがとうございます。わたしの故郷は仙道だよーと言うって電話を切りました。心からご冥福をお祈りします。

水澤先生をお送りして

飯塚 和雄

先生は、新聞によりますと、十二月一日午後五時三十七分、お亡くなりになりました。

同日夕方、知人からの電話を受けたとき、先生には、ご無沙汰ばかりではありましたが、入院なさったということも聞いておりませんでしたので、お元気にお過ごしと思っておりましたので、耳を疑うばかりでした。

私たちの集まりに来ていただいたときなどに、人間だんだん年を重ねてくると何よりも大切なものは健康であるから体には十分気をつけるようにといつもおっしゃっていられたことを思い出しております。

夏分には野菜作りをしておられるなどお元気で、また亡くなられる二日前に先生とお会いし、前日にお電話をもちったというかたもありましたので、本当に突然のご逝去でありましただけに、先生にはまだまだなさりたいことがいっぱいありだったことと拝察しております。

近隣在住のみなさん、「まどい」編集室の佐藤芳雄さんとい

相談の結果、仙道中学校8期生として、花環と花篋(生花)を一つずつ贈らせていただくことにしました。

ご葬儀は五日でした。湯沢の斎場で火葬、仙道のお寺さんでご葬儀でしたが、火葬のほうだけに参列して先生をお送りしました。時間に余裕を持ったつもりでしたが、喪主のかたのご挨拶がすでに終わったところに到着するといふ不肖の教え子ぶりをしでかしてしまいましたので、あのころとさっぱりかわって

ないなあ、先生はさぞあきれられたことと恥じ入るばかりです。大変多くのご会葬者でしたので、会わないでしまったかたもいるかもしれませんが、同期生は七人だったと思います。

喪主のかたはご挨拶のなかで、なにぶんにも突然のご逝去で驚いていますが、日ごろから他人様に迷惑をかけられないと言っておられたことを思えば、いかに

も父(先生)らしい逝き方かとも思われますと言われたそうです。それにしても二〇〇人を超えると思われるご会葬者数は先

生のお人柄を何よりもはつきりと示しており、仙道中学校で一番先の三年間に教えを受けたものとして、師の偉大さを誇らしく思うと同時に、卒業後も五十年にわたって見守り続けていただきましたことに対し、あらためて有難うございましたと思わずにはおられません。

仙道でのご葬儀には失礼いたしました。参列されたかたによると、こちらでも学校関係者をはじめ、大勢のかたがが参列され、弔辞・弔電も多かったそうです。先生としてはじめての任地である仙道に文字通り根を下ろして、仙道を思い続けてくださった先生にもっともっと長くお元気で悠々としていただきたいと思いだしたことでしよう。

2年ほど前でしたか、同期生数人で先生のお宅に押しかけた時に、お茶をいただきその湯飲みをいただいたことがありました。それが先生との最後になってしまいました。古稀に近づいたとはいえまだまだ頑健な私たちの見守りをお願いしつつ、先生のご冥福をお祈り申し上げます。

(19. 12. 5)



湯沢市 岩崎種子

一日の夜、突然飯塚さんから、水澤先生急遽の悲報を聞いて、とてもびっくりしました。

ただ茫然と立ちつくし、人の命のはかなさを思い、言うべき言葉もありませんでした。

年齢的にもまだまだお元気でいてもらいたかったのに、寿命とはいへ、ご家族みな様の無念はいかばかりと、ご愁傷に存じます。

水澤先生の思い出。わたしにとっては、朝の詩の朗読。宮沢賢治の「雨ニモ負ケズ、風ニモ負ケズ」あの時間が一番心に残っています。

先生の温顔に再び接する事が出来ないと思うと、とても悲しいけれど、あの「詩」を思い出して、いつまでも先生を偲ぶよすががいたします。

真っ白い雪の中、先生は旅立ちました。お休みなさい、先生

掛川市 布川勝之助

私達は学年としては乱暴の方だったのでしょうか、それとも

教育事情がそうだったのでしょうかこんなこともありました。

数字のグラフボードを壊したとき、信昭先生は「おまえの通信簿に破壊力という項目があったら間違いなく(5)が付いたろう」水澤先生に至っては「命あるものは死ぬ、形あるものは壊れるんだ」おおらかなのかあきれられたのか、先生の言葉が思い出されます。

何かと思いい出の中に残る先生、ご冥福をお祈りします。

寒川 大村シゲ

同級会に来るたびに「俺より先に死ぬな」と言い続けた水澤先生。あんなに大事にされてきた奥様に先立たれ、寂しい様子だと聞きましたから、こちらで一緒に暮らしましょうと、キックト奥様に呼ばれたのではないのでしょうか。

先生、どうか奥様とご一緒に安らかでありますようにご冥福をお祈りいたします。

さいたま市 上原和雄

芳雄君から、水澤先生が亡くなった事を知らされました。たいへん驚いています。

中学校一年から三年まで担任で、夏休みなど何人かで先生の家遊びに行き、勉強を教えてもらったり、本当に優しい、熱心な先生でした。

謹んでお悔やみを申し上げ、冥福をお祈りします。

西馬音内 阿部アイ

亡くなった奥様にあげてくださいと持っていった千し柿。かたくて余り好きではないと言っていました。去年はおいしかったと言っていたので、今年は少し遅れたが持っていこうと準備しているところだったのです。これが心残りではありません。

奥様の時も、願いを込めておった折り鶴を渡せなかった心残りがありません。「まどい」に書いたそれを先生はせっかくだからと引き取りに見えました。

先生、この千し柿は誰が取りに来てくれるでしょうか。

わたしの恩師だけでなく、家族ぐるみでお世話になった先生です。そう思うととても切ないです。

東京 柴田友幸

皆様いかがお暮らしますか、先日十二月二日芳雄様より、中学の三学年担任教師として教えを頂いた、水澤先生がお亡くなりになったとの知らせを受け、中学じだいのが走馬燈の様に想い出されました。

ぼくは中学時代は良いことがなく辛いことや苦しい事はかなり、余り想い出さないように生きてきました。

でも今振り返り、あの辛いことがあって現在の自分があるのかも知れません。

ボクが中学卒業後先生に会ったのは還暦同窓会だったと思う。そのとき水澤先生は、挨拶で「今は先生でも何でもありません、ただの仲間なんだ」老いても元気で生きている事が素晴らしいんだ、そして「俺よりも先に逝くな」とも言いました。

あの言葉はこんなにちも忘れることができないです。

ぼくも老人会で話した事があつた様な気がしますが、病は気からと言う諺がありますが、病気になる、人は無理してきた自分の生活を見つめ直す。すると病気や死に関する話題が妙に気になりはじめ弱気になりがちです。しかし大事なものは病気になるでも病人にならないとの心意気ではないだろうか。

日頃休みたいゆっくりしたいと思っても病気になるってみて改めて健康である事のありがたさがわかるのではないだろうか。それほどに病気を巡る人の心の動きは様々な顔を見せるような気がしてならない。

またなにごとにも求める心がある限り、逆境や困難に挑む勇氣と行動力が湧いて来るような気がしてならない。良くわたしは歳だから、と言う人がいます。わたしはいくつになっても挑戦心を忘れたくない。

水澤先生も長い人生の中にどれだけ逆境や困難に挑戦して生きてきたことだろう。先生もこれから人生を自在に楽しもうと思っていたでしょうに、逝ってしまった事は残念でならない。

深く深くご冥福をお祈り申し上げます。

県民性ってなに？

東海市 高橋孝之助

秋の夜長フト目を覚ます。そのまま眠れず枕元の携帯電話に手を伸ばす。聞くとともに

く、ぼんやり

聞いていた。

女性アナと男性の声。かな

り興奮した男性の声。

「秋田のどこが悪いっていうんだ！」思わずポリュー

「秋田のどこが悪いっていうんだ！」思わずポリュー

「秋田のどこが悪いっていうんだ！」思わずポリュー

「秋田のどこが悪いっていうんだ！」思わずポリュー

「秋田のどこが悪いっていうんだ！」思わずポリュー

「秋田のどこが悪いっていうんだ！」思わずポリュー

「秋田のどこが悪いっていうんだ！」思わずポリュー

「秋田のどこが悪いっていうんだ！」思わずポリュー

「秋田のどこが悪いっていうんだ！」思わずポリュー

「秋田のどこが悪いっていうんだ！」思わずポリュー

「秋田のどこが悪いっていうんだ！」思わずポリュー

「秋田のどこが悪いっていうんだ！」思わずポリュー

「秋田のどこが悪いっていうんだ！」思わずポリュー

「秋田のどこが悪いっていうんだ！」思わずポリュー

「秋田のどこが悪いっていうんだ！」思わずポリュー

「秋田のどこが悪いっていうんだ！」思わずポリュー

「秋田のどこが悪いっていうんだ！」思わずポリュー

「秋田のどこが悪いっていうんだ！」思わずポリュー

「秋田のどこが悪いっていうんだ！」思わずポリュー

「秋田のどこが悪いっていうんだ！」思わずポリュー

「秋田のどこが悪いっていうんだ！」思わずポリュー

女子アナ

「だから、さっきから言っているように私が言っているわけでは無いんです、アンケートでそう言う結果が出てるんです！秋田の人はお酒を飲まない！人前で話が出来ない、そういう県民性なんだって！」

聞いていて頭にきたよ！目が冴えてしまったね。

「冗談じゃネエー俺んとこにアンケートの依頼に来たかよ！自殺者が日本一？年寄りが多い？長生きでいいじゃねえかよ！酒を飲まない！人前でしゃべれないだろ？だったら俺なんかどうすんだよ！うるさいから少し黙れといわれてるんだぞ！自慢じゃあないけど！」

夜中にフトンの中で汗かいて怒ってしまった。眠気なんかどこかへ行ってしまった。

何が県民性だ。学業の成績の良いのは、日本で秋田が一番なんだぞ！

でもやはり反省すべきところも多いかな。反省すべきところは素直に認め、他県に負けな

い何かを育てないと、こうして後ろ指をさされるんだ。

がんばれ！秋田県！

秋田を何とかせにゃー！

「秋田のどこが悪いっていうんだ！」思わずポリュー

おにぎり、 楽しい日々を



札幌市 吉田キサ子

しばらくぶりに「まどい」に向けてペンを持ってみました。

みなさんお元気でしょうか。今年も残り一ヶ月となってしまいましたね。

私も二年余り前までに三年間ぐらいたんまりしていた事がありましたが、いつの間にかお陰様で元気になってその後、京都と石川県の金沢方面まで、そして今年の春三月は関東方面、そして今年の八月は道内網走方面へそして八月中には秋田へもいって来ました。

本当に、体調の良いとき、悪いときの差とはこんなに大きなものかと感じているところなんです。今になって何でこんな事を書いたかという、佐藤様の奥様が体調が悪く入院されておられることを耳にしたもので「一こと書いた次第です。」

本当に歳と共に少しづつ弱ってくる面があります。

これからは特に寒くなってくるしお互いに体調に気をつけて少しでも長生きして楽しみながら元気な日々であらいたいと思っています。

この年代になってくると考えることはみな同じだと思いますが、私も旦那が一度大きな病気をした事があったからなのかしら。

本当にみなさん、今の国会は荒れに荒れているけれどお互い自分たちの身の回りでは安定した日々でありたいですね。

残り少なくなってきた二〇〇七年何事もなく過ぎて新しい年を迎えられると良いですね。

「まどい」のみなさんどうぞお元気で良い年を迎えてください。

子供たちとお手玉遊び 今はのんびりと暮らしています。

荒島友子

「過去を振り返っても、戻っては来ませんから明るく生きていけば無くなった主人の方も安心してくれますよ」とある人に教えられて元気にになりました。

蒲郡市

そんな私たちももうすぐ古稀の年齢になりますね。

家の中ばかりいてはボケになると言われて、ある方の勧めで老人会に入って近くの保育園や幼稚園に年寄りの会で行ってきました。

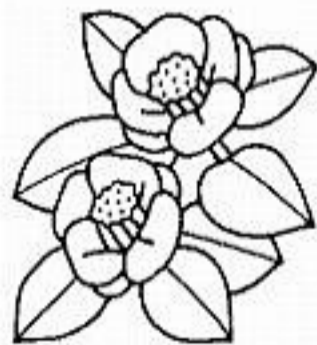
私がさわると壊れそうなやわらかな手でお手玉を教える遊びがわたしの回り番になり、何十年ぶりかで幼い子供たちと一日を過ごすことが出来るなんて、私には夢の様な時間でした。

今はのんびりしすぎて忙しかったころが懐かしく思います。

9年に三谷で同級会を開いた時は仕事・家事・介護とひとりで出来たのに今は自分ひとりのんびり暮らせる幸せがウソの様な毎日です。

ご夫婦で健康な皆様、夫婦仲良く散歩をされたり趣味を持って楽しい人生であってほしいと思います。こんな風に言える私も元気で皆様に会える日が来ることを願っています。

二十年ももうすぐですね。風など引かないように、明るい正月が来ますように願っています。



「日本農業新聞」

農家の生まれにもかかわらず、わたしはこの新聞を知りませんでした。創刊80周年と言うからには、わたしが生まれる12年前からあったことになりそうです。新聞は、この80周年を記念して『田園立国』と銘うって全国の農村の姿を現場から掘り起こして行きました。今年四月からはじめ第五部には「願い」と題して羽後町を取材したものが掲載されました。

「68歳の出稼ぎ 羽後から父さんのいる冬を」これは仙道の出稼ぎ状況を取材されたもので、ほかに米・福祉・嫁と四件を取り上げていました。次回はその全部を紹介したいと思います。



過日新聞のコラム欄に、題記の本が載っていた。あまりにも良いことが書いてあるので読んで見たくなった。近くの本屋に行って早速買う。値段が高いので少々迷ったが、せっかく来たんだからと買った。千三百円は痛い。



著者はお笑い芸人「麒麟」名は田村裕(ひろし)という。

田村家の解散を巡る実話である。中学二年

生のとき、家が差し押さえられてしまった。

父親は田村の兄と姉と三人を前に、突然「厳し

いとは思いますが、これからは各々頑張ってください……解散！」と宣言した。

田村は公園で一人暮らしを始める。兄や姉に迷惑をかけまいと、友達の家で面倒になると説明していた。

金もなく食べるものもない。

公園の草を食べたり段ボールに水をかけ柔らかくして食べたりして

飢えをしのいだ事もあった。本のタイトル

のゆえんである。ただし、公園での生活は一ヶ月弱で終わった。仲の良い友だちに事情を説明し、その家で一緒に暮らせる事になったからだ。

やがて近所に人や他の同級生の親も話を聞きつけ、子供三人が一緒に住める家まで用意してくれた。お金は働き始めてから返せばいい、と。

この本には、田村の言葉を借りれば「本当に、優しく、本当に暖かい」人が次から次に出てくる。みんなふつうの事をしたつもりかも知れないが「いい人」にこれだけあえる本は少ないだろう。

人々が何を渴望しているかを知るための一つの指標がベストセラーだとしたら子の本による答えは明確だ。ただし相手にだけ、優しさや、温かさを求めるわけにはいきまい。

父親を恨まず感謝さえしているという田村の心根を知って、そう思う。

この本はいま、百二十万の発



行部数を誇るベストセラーだそう。

この本の著者、田村が最後の「おわり」にかいてある。ありがとうー！として感謝という

言葉がいくつあったことだろう。あまり、お笑い芸人さんたちには興味が無かったが、この本を読んで見る目が替わった。

一度読んでみてください。ただし傍にはハンカチと鼻紙を用意すること。図書館にもあるそうですが、借りるのに350人町だそう。

(R・I)

少し体調を崩して毎日が日曜になってから一年になったかなどとふと思いつながらのこのごろです。今までの一年のよう

に思い、振り返ったというわけでした。最初は自分でもびっくりしておしげづきでしたが、今は元気に過ごしています。

仕事に出かけているといないの違いはいろいろあるわけですが、三度の食事を家で取りながら、「ご飯だよー」と呼ばれると一緒に現れるネコを見ながら、わが家にこのヒトがいなければどんなことになるだろうという会話が珍しくありません。

時は紐をつけてです。玄関につないで外を見せていると前のお宅のおばあちゃんがネコ大好きな方でずいぶん遊んでもらいましたし、油断して逃走されたときはこれに限ると干したマタタビの実をいただいたりしました。

そのおばあちゃんのご家族は同じ市内ですが五年まえに越されましたが、その後も出会うたびにネコちゃんは元気かといっ

てくれるのです。ところで、今朝の新聞でそのおばあちゃんのご子息の訃報にびっくり、越されるまで二十年以上もお世話になっていましたので、ご葬儀に行きました。

「さかさまになってしまった」というおばあちゃんに、ことばもありませんでした。あそびに行こうと思ってもなかなか行けないので、これをと家族の方たちに気づかれないように私にくれたのは、なんとネコちゃんにこれをとマタタビの実だったのです。わが家に来て幸せと思ってくれているだろうなどとネコ好きのつもりでいた自分の思い上がりを感じたことでした。お

ばあちゃん、また遊んでやってください。

ネコと暮らせば

湯沢市 飯塚和雄

みなさんお久しぶりです。

今年もあと一カ月ほどになりました。十二月を過ぎしてみないと振り返るのはまだ早いとお叱りを受けるかもしれませんが、みなさんにはどんな年でしたでしょうか。

のを連れて帰って以来わが家の一員になったのです。

十歳目に入り堂々としています。峠の家と違い、近所迷惑になっ

てはと家の中で飼うことにしています。小さいときから首輪に紐をつけるのに慣れてく

れて、外を見たり散歩(?)の

九年前のお盆

十三日にたまたま生家があった峠に家族で行った。家をほごしたあとにのくさむらの中に生後間もなくの状態です。捨てられていた

を連れて帰って以来わが家の一員になったのです。十歳目に入り堂々としています。峠の家と違い、近所迷惑になっ

てはと家の中で飼うことにしています。小さいときから首輪に紐をつけるのに慣れてく

金は貯まらないが 中性脂肪は貯まったよ!

西馬音内 佐藤宗夫

還暦も過ぎ一年一年歳を重ねているこの頃、皆様にはおじいちゃん、おばあちゃんになり穏やかに過ごしてのこととお喜び申し上げます。

俺は残念ながらまだおじいちゃんにはなり損ねております。

今我々は高齢者社会の真っ只中におります。田舎では左右前後どこを見ても高齢者がかりである。

俺もいろんな会に参加している(させられている)が、いろんな会があっても定年退職した後輩達がなかなか加入してくれない。自分の家で田畑を作っている方が多く、加入しなくてもいいことらしい。

会の中では俺は若い方である。よく考えてみれば60代であり会の活動するにも率先して動かなければならなくなっている。今年になり我が同級生の大友

行さんが羽後グラウンドゴルフ協会に、五輪坂スポーツガーデンの管理運営委員に推薦され、俺は非常に助かって降ります。良

く気が付くし率先して作業をこなしてくれまます。また同級生ということで気軽に物事を頼める(命令めかも)ので大変楽になりました。

先日はガーデンの冬季閉鎖のための作業を行い、反省会として五輪坂温泉「としとらんど」で行い、そのとき二人で温泉に浸かりながら、二年後は我々も古稀他なるなあとの話になり、来春あたり近くに同級生に集まって頂き、相談する必要があるのではないかと、来春は同級生に連絡があると思いますので、是非参加して良い相談を貸していただきたい。

昔の悪い癖が出まして、飲んだ後は直ぐ家に帰れば良いものを、帰りのバスが三輪車田となつたので同級生の家に寄ろうとむ

りやり降りてまた飲んで迷惑を掛けてしまいました。

こう書けばいかにも元気そのものの様に見えるが、これでも医者薬7種類も服用している。背が低いが高血圧が高い、金は貯まらないが中性脂肪は貯まるといった具合である。

我々の歳になるとたいいていの方は葉の厄介になっていられる。皆様はどうでしょうか。これからは病気と仲良くしお互いに長生きし人生を楽しみましょう。

60代バンザイ!



下仙道ミロク 11/22

11月18日、近年にない大雪の初雪がありました。

羽後町ホームページより

編集手帖

全国の同級生のみなさんお元気で暮らしていることとお喜ぶ思います。

12月1日水澤先生が急逝されました。

た事を知るに付け、たいへん驚かれています。特に私達同期生にとっては悲しみの嵐が全国を吹きあげました。とりあえずの方々にコメントを頂き今は亡き先生を偲ぶ紙面を作ることが出来ました。先生のこと、きつとこの紙面をご覧になつてほしいと思います。

みなさんと共に、心から冥福をお祈りしたいと思います。

合掌

みなさんも書かれていますように、この年齢になりますとあちこちと部品が疲弊して参ります。これはやむなきことでもありますので、だましました長く使っていきたいものです。

東京で開かれた「首都圏羽後町会」では、来年は「古稀」だから今その準備をしておるところだと先輩がいつていましたが、私達もそろそろです。「楽しみ待つのでいいのか」と思うほどどんどんと「とへって」行き

ます。最後とはいいませんがその折には、全員がそろおうことを心から願っています。またまた地元のみなさんにお世話になります。

今年もあと少しになりました。天災人災、企業や政治家の不正などなど、特に有力者達の脳天を見せつけられました。謝つて済む事ばかりではないのですがやはり「ごまかされている」感じが否めないそんな一年の様なきがしています。

国会も、与野党が逆転するとそれを「ねじれ」だと言うが、この試練を越えて日本の政治が変わるのではないかと思つています。与党の大臣の中にはいままで出来なかった程に活躍する姿も見えます。それでも尚与党が与党の追求をしているのを見てみると非常に残念にも思えます。とにかく我々に良い政治を行ってほしいものです。

さて全国の同級生の皆様、来年も良い年でありますようおげんきでお暮らしてください。

金子健治さん移転

新川岩手県北上市

柳原町三丁目十二番二十七

0197-64-1415